

第 26 回「全国児童 水辺の風景画コンテスト」の(一社)日本マリーナ・ビーチ協会会長賞が決まりました。

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団が主催する「全国児童 水辺の風景画コンテスト」は、小学生以下の児童・幼児を対象に、積極的に水辺に出かけ発見・体験したことを、子どもらしい素直な表現で自由に描くことを通して感性が育まれ、のびのびと成長するための一助となることを願って、平成元年より毎年実施しています。

平成 26 年 10 月 28 日(火)、日展会館において本選会を実施し、予選会を通過した 509 点の作品の中から、「文部科学大臣賞」「国土交通大臣賞」「環境大臣賞」「農林水産大臣賞」、「特別賞」(日本マリーナ・ビーチ協会会長賞他)、「優秀賞」の合計 37 点が選ばれました。

日本マリーナ・ビーチ協会会長賞は、以下の作品です。

日本マリーナ・ビーチ協会会長賞

氏名：三森 楓花

学年：小学校 5 年

作品名「にじいろくじらと水の都市」

海に行った時、魚が泳いでるのを見て、海が見わたせるドームがあればいいなあと思い、描きました。



選考者のコメント：

これまでは、海水浴が描かれた作品を選んできたわけですが、今回はマリーナもビーチも含めた海全体を描いており、子どもから大人までが海の楽しさを感じてもらえる作品としてこれを選びました。特に、とてもカラフルな色遣いとユニークな発想がちりばめられ、子どもたちがマリーナやビーチに親しみを感じ、また海に夢を持ってもらえる作品になることを期待しています。